

STAR

フレコンハンガー

取扱説明書・部品表

製品コード
型

式

K99036

FARB106SH

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

目 次

▲安全に作業をするために	2
I 各部の名称	4
II 本機の着脱のしかた	5
1. 取り付け前の準備	
2. トラクタへの装着	
3. 本機の取り外し方	
III インプレメントの着脱のしかた	5
1. 取り付け前の準備	
2. 本機への装着	
3. 本機からの取り外し方	
IV 本機の取扱方法	6
1. 吊り下げ	
2. 投下	
3. 旋回	
V 作業前の点検について	6
1. 点検箇所	
2. 点検のしかた	
VI 本機の簡単な手入れと処置	7
1. 定期点検箇所	
2. グリースの補給	
VII アフターサービス	7
付表	7
主要諸元	

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございました。

この取扱説明書は製品の正しい取扱方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただき十分理解され、お買い上げ製品がすぐれた性能を発揮し、かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。また、お読みになった後必ず大切に保管し、分からないことがあったときには取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更により、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

▲安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示があるラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、▲表示のラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げいただいた購入先に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■ 注意表示について

本取扱説明書は、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について、次のように表示しています。



警告 : 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



危険 : 注意事項を守らないと、けがを負うおそれがあるものを示します。

重要 : 注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれがあるものを示します。

補足 : その他、使用上の役立つ補足説明を示します。

■ 仕様について

この取扱説明書では、仕様の異なる製品を下記のように表示していますので、お買い上げの製品の仕様をお確かめのうえ、お間違いのないようお願い致します。

▲安全に作業するために

本機をご使用になる前に、必ずこの「取扱説明書」をよく読み理解した上で、安全な作業をしてください。安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですがこれ以外にも、本文中で▲警告・▲注意・重要・補足としてそのつど取り上げています。

1. 作業前に

- (1) 本機を操作する前に、トラクタの取扱説明書と機械に貼ってある▲表示ラベルをよく読み、理解した上で操作してください。
- (2) 本機を他人に貸すとき、又、操作させるときは、事前に操作の仕方を教え、本書を読ませてください。
- (3) 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対に操作させないでください。
- (4) 飲酒時や体調が悪いときは、本機を操作しないでください。
- (5) ダブダブやかさばった衣服を着用しないでください。回転部分や操作レバーに引っかかり事故の原因になります。安全の為、ヘルメット、安全靴、保護めがねや手袋などを必要に応じて使ってください。
- (6) 本機を改造しないでください。改造すると、本機の機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。
- (7) 紛失したり損傷した部品は交換してください。又、定期的にボルトやナットがゆるんでいないか点検してください。

2. 操作時に

- (1) 溝や穴の近く、路肩など重みでくずれやすいところでは操作しないでください。又、吊り下げ作業時トラクタが傾いたり転倒しないように、十分に硬い地面の上で操作してください。
硬い地面であっても傾斜した場所では操作しないでください。
作業場所の選択を怠ると人身事故につながります。必ず場所の確認を行い操作してください。
- (2) 共同で作業するときは、声をかけあって、お互いにしようとしていることを知らせてください。
- (3) トラクタ側のエンジンを始動させたまま運転席から離れる場合は、車速変速レバーやPTO変速レバーが“中立”かどうか、又、駐車ブレーキがかかっているかを確認してください。
- (4) 本機をトラクタに装着したとき、かじ取り車輪(前輪)にかかる荷重がトラクタ質量の20%以上になるようにバランスウェイトを装着して使用してください。
特に本機に更にブロードキャスタ等のインブルメントを装着する場合は、前後の重量バランスに注意して下さい。本機やトラクタの損傷や転倒、人身事故にもつながります、十分注意してください。
- (5) 輪距(タイヤ中心間の距離)が変更できるトラクタへの装着の場合は、支障のない範囲で輪距を大きくすると、安定が良くなります。
- (6) 上昇させたブームや吊り荷の下には、絶対に人を立ち入らせないようにして下さい。ブームや吊り荷が落下した時、人身事故につながります。
- (7) ブロードキャスタ等の装着したインブルメントへの積載は、偏らないようにして下さい。偏った荷物の積載は、転倒につながり危険です。
- (8) ブームによる吊り下げは、荷崩れしないように行ってください。
特に、引っ掛け分が亀裂や磨耗したフレコンは、自重により切断し墜落する恐れがあり危険です。必ず確認をして吊り下げてください。
- (9) 最大荷重は必ず守ってください。ブームの伸縮で最大荷重が異なりますので、本書記載の最大荷重に従ってください。尚、本機に装着されたインブルメントの質量も加算されます。

3. 走行時に

- (1) 走行するときは、必ずブームを縮め下にさげて、更にスタンドを最上部まで上げて下さい。
トラクタ側のポジションコントロールで本機全体を下に下げると、スタンドが走行時に地面に接触し機体損傷の原因になりますので注意してください。ブーム旋回仕様はブームを後方に向けてください。
- (2) カーブ走行する時思った以上にオーバーハング(尻を振る)します。特に曲がろうとする外側の障害物などに注意してください。
- (3) 坂道走行は転倒を避けるため、トラクタの前後左右バランスに気をつけて行ってください。
- (4) 本機やインブルメントに人を乗せて走行しないでください。人身事故につながる恐れがあります。
- (5) トラクタは作業機を装着して公道を走行できません。(道路運送車両法の保安基準)
作業機を装着して走行すると、他の車や電柱などに引っ掛けて事故の原因になります。

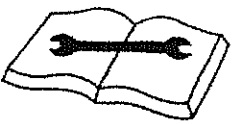
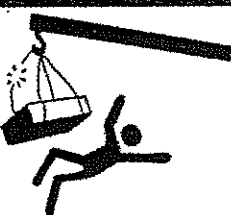
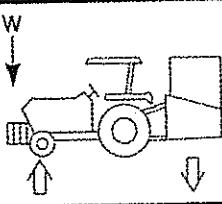
4. 着脱時に

- (1) 本機のトラクタへの着脱や、本機へのインプレメントの着脱は、平たんな場所で行ってください。
- (2) 圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。油圧部品を外すときは、必ず残圧を抜いてください。

5. 格納・点検整備時に

- (1) 格納はスタンドを下げて行ってください。格納時、格納中は転倒しないように十分注意して行って下さい。
- (2) 目に見えない小さな穴から油漏れを探すときは、保護めがねをかけ、ボール紙などを利用してください。万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こすおそれがあるので、すぐ医師の診療を受けてください。

6. ▲表示ラベルと張付け位置

▲ 安全操作の注意 ▲ ・「作業機」に人を乗せて走行しないこと。 ・上昇させた「作業機」の下に人を立ち入らせないこと。 ・「作業機」を必要以上に高く上げて走行しないこと。 ・坂道での走行に気をつけること。 ・片荷にならないように積込むこと。 ・「作業機」は思ったより尻をふります。特に曲ろうとする外側に注意すること。	▲ 注意 後方に人がいないことを確認して操作すること。	
▲ 警告  機械の上にあがると転落し、怪我をすることがあります。機械の上にはあがらないこと	▲ 警告  運転中は手を出さず、怪我をします。	
▲ 注意  この機械を運転・点検整備する時は必ず取扱説明書を読むこと。	▲ 危険  吊り荷の下に人を立ち入らせないこと。	▲ 注意  前輪が浮くと危険です。トラクタのフロントにウエイトを取付け、安全を確保して走行すること。

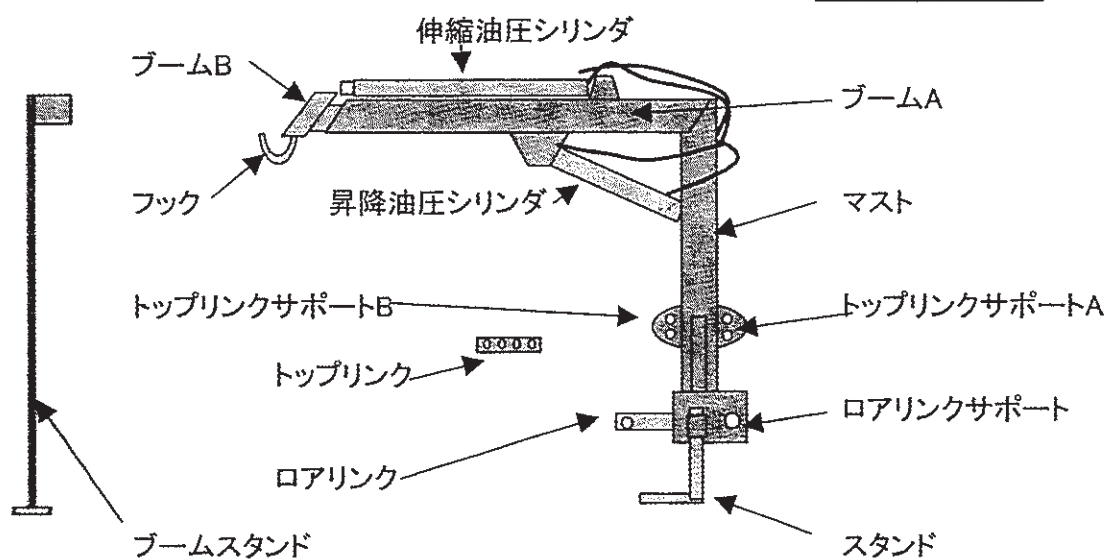
最大積込重量 600kg
(ブームを最小限に縮めた時 800kg)

7. ▲表示ラベルの手入れ

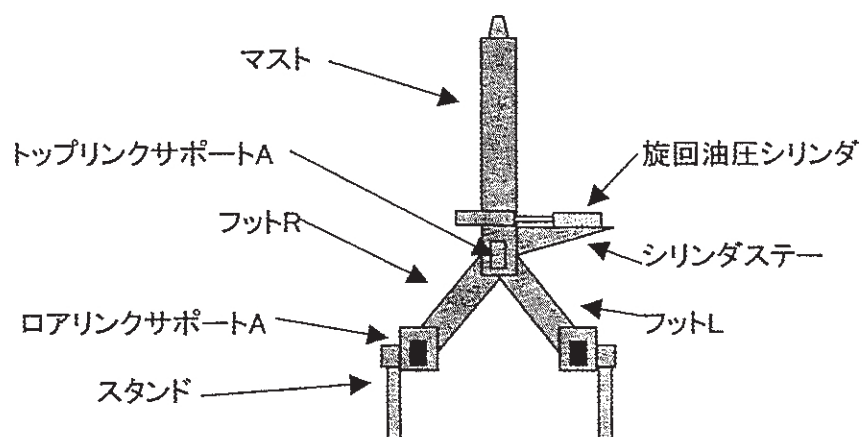
- (1) ラベルは、いつもきれいにし傷つけないようにしてください。
もしラベルが汚れている場合は、石鹸水で洗い、やわらかい布で拭いてください。
- (2) 高圧洗浄機で洗車すると、高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- (3) 破損や紛失したラベルは、製品購入先に注文し、新しいラベルに張替えてください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、張付け面の汚れを完全に拭き取り、乾いた後、元の位置に貼ってください。
- (5) ラベルが貼付されている部品を新部品と交換するときは、ラベルも同時に交換してください。

I 各部の名称

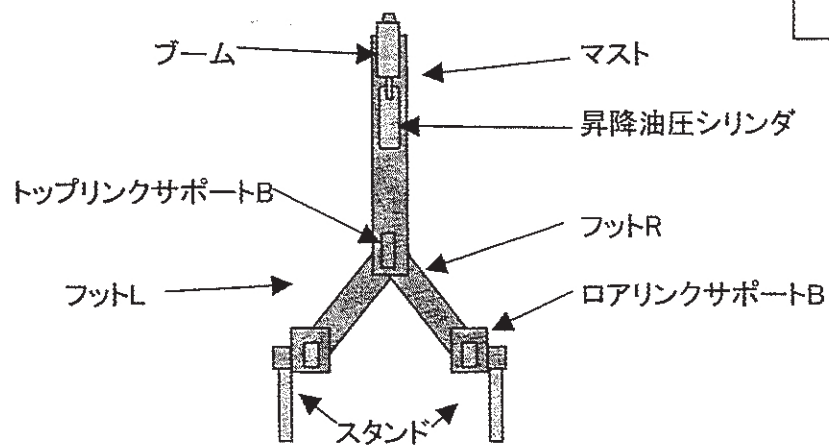
トラクタ側 ⇒



前方より



後方より



Ⅱ 本機の着脱のしかた

1. 取り付け前の準備

- ① 本機を装着できるトラクタは、3点リンク方式JIS規格カテゴリーⅠ・Ⅱ形の装置方式を備えたトラクタに限ります。
- ② ロアリンク、リフトロッドの穴位置は、標準位置で設定してください。
※ロアリンク: 中、リフトロッド: 上

2. トラクタへの装着

- ① 左・右の本機ロアリンクサポートにトラクタのロアリンクを装着する。
カテゴリーに合わせセットピンを装着する。
- ② トップリンクを装着する。
- ③ 装着後、ポジションコントロールレバーをゆっくりと操作し、最上昇時にキャビンやキャノピーにマストが接触しないよう調整する。
調整はトップリンクの長さまたは、ポジションの高さ規制ダイヤル等で牽制して下さい。
- ④ 油圧カプラを装着してください。

3. 本機の取り外し方

- ① ブームスタンドを装着する。本機のスタンドを降ろしピンで固定する。
- ② 油圧カプラを外す。
- ③ トップリンク、ロアリンクを外す。

▲ 危険

- ・ 装着するインプルメントに合わせ、前部ウエイトを必ず取り付けてください。
トラクタの前輪が浮き上がり、事故の原因になります。

▲ 危険

- ・ 本機の着脱は、平坦な場所で行って下さい。
- ・ 本機とトラクタとの間に立たないで下さい。
はさまれる恐れがあります。

▲ 注意

- ・ 装着後は必ず、接触確認を行ってください。
本機やトラクタの破損の恐れがあります。

▲ 危険

- ・ 本機の着脱は、平坦な場所で行って下さい。
- ・ 本機の着脱時は必ずスタンドを装着して下さい。
- ・ 本機に寄りかかったり、乗ったりしないで下さい。

Ⅲ インプルメントの着脱のしかた

1. 取り付け前の準備

- ① 本機のロアリンクをインプルメントに合わせ左右のロアリンク間の幅を調整する。
幅調整はロアリンクサポートへのロアリンク装着位置と左右のロアリンクの交換で行って下さい。
インプルメントが小さすぎ、標準のロアリンクに装着が不可能な場合は、取扱店にお申し出下さい。
- ② 長さにあったユニバーサルジョイントをご用意下さい。
トラクタに本機を装着する為、インプルメントの装着位置がトラクタより約30cm後方に移動します。

▲ 危険

- ・ 左右のロアリンク間の幅は、インプルメントに合わせて必ず調整してください。
幅が合っていないとインプルメントの脱落につながり危険です。
- ・ 長さの合ったユニバーサルジョイントをご使用下さい。
ジョイント抜けにより、破損や傷害事故の恐れがあります。

2. 本機への装着

- ①左右のロアリンクにインプルメントを装着する。
脱落防止ボルトを確実に装着する。
- ②トップリンク(付属品)を装着する。
付属のトップリンクが長すぎる場合は、取り扱い店へお申し出下さい。
- ③ユニバーサルジョイントを装着する。
- ④ポジションレバーの最下限位置を設定する。

3. 本機からの取り外し方

- ①ユニバーサルジョイントを外す。
- ②トップリンクを外す。
- ③ロアリンクの脱落防止ボルトを外し、ロアリンクから外す。

⚠ 注意

- ・インプルメントの着脱は平坦な場所で行って下さい。
- ・装着後は必ず、下限調整を行ってください。インプルメントの破損の恐れがあります。

⚠ 危険

- ・インプルメント着脱時は、必ずPTOを中立にして下さい。

⚠ 危険

- ・インプルメント着脱時は、必ずPTOを中立にして下さい。

⚠ 注意

- ・インプルメントの着脱は平坦な場所で行って下さい。

IV 本機の取扱方法

1. 吊り下げ

- ①フックにフレコンのベルトを引掛ける。
- ②ブームを上昇させ吊り下げる。
この時、ベルトのたわみでフックから外れないように注意してください。
- ③ブームの伸長を行い更にフレコンを上昇させプロキヤス等の上まで吊り下げる。

2. 投下

フレコンがプロキヤス等の真上の位置にあることを確認し投下して下さい。

3. 旋回

ブームを旋回させフレコンの吊り下げを効率的に行ってください。

⚠ 警告

- ・作業は水平且つ平坦な場所で行って下さい。平坦であっても硬い地面の上で行い、転倒には十分注意して下さい。
- ・万が一の転倒に備え作業員以外は、近づかないで下さい。
- ・吊り荷の下には、絶対に入らないで下さい。
- ・吊り下げ重量制限は必ず守って下さい。特にブームの伸縮時で吊り下げ制限重量が異なりますので注意してください。
- ・吊り下げ作業は危険を伴います。注意事項を守らないと死亡や重大事故にもつながりますので十分に注意して行って下さい。

V 作業前の点検について

1. 点検箇所

- ①油圧ホースやジョイント部
- ②各部のセットピン
- ③主要なボルトやナット
- ④その他外観上の異常箇所

⚠ 注意

- ・傷害事故防止のため、点検する場合は、次の事項を守って下さい。
※トラクタを平坦な場所に置く。
※エンジンを止め駐車ブレーキを掛ける。

2. 点検のしかた

- ①油圧ホースやジョイント部からの油漏がないか点検を行ってください。
- ②各部に装着したセットピンが、外れていないか点検して下さい。
- ③ロアリンク装着ボルト等のボルト、ナットが緩んでいないか点検して下さい。
- ④油圧シリンダのスライド部やフック等に大きな傷がないか点検して下さい。

補足

- ・作業前の点検を行うことで、作業中の事故防止につながります。
必ず行いましょう。

VI 本機の簡単な手入れと処置

1. 定期点検箇所

- ①油圧ホース、ジョイント部
- ②各部のグリースアップ
グリースニップル部
 - a. ブームAの上部
 - b. ブームAのトラクタ側の側面部
 - c. マスト最下部 (FARB106SHA仕様)

▲ 注意

- ・傷害事故防止のため、点検する場合は、次の事項を守って下さい。
※トラクタを平坦な場所に置く。
※エンジンを止め駐車ブレーキを掛ける。

2. グリースの補給

- ①上記のグリースニップル部には定期的にグリースの補給を行って下さい。
- ②上記以外でも金属同士が接する部分にグリースの補給をすることをお勧めします。

VII アフターサービス

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は、お買い上げいただいた購入先に、それぞれ「ご相談窓口」を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

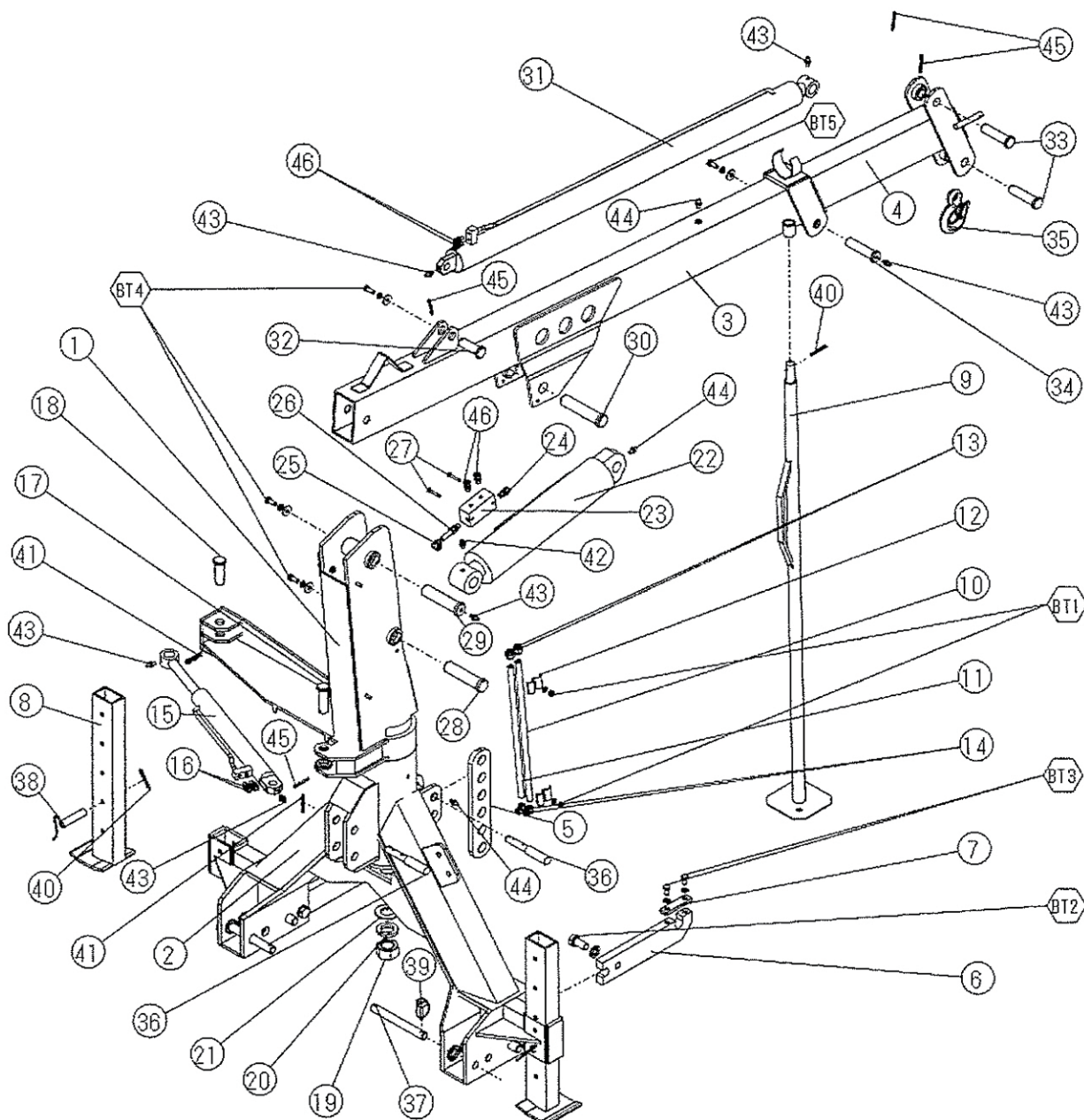
▲ 警告

本機を改造しないでください。改造すると、本機の機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながります。

付 表

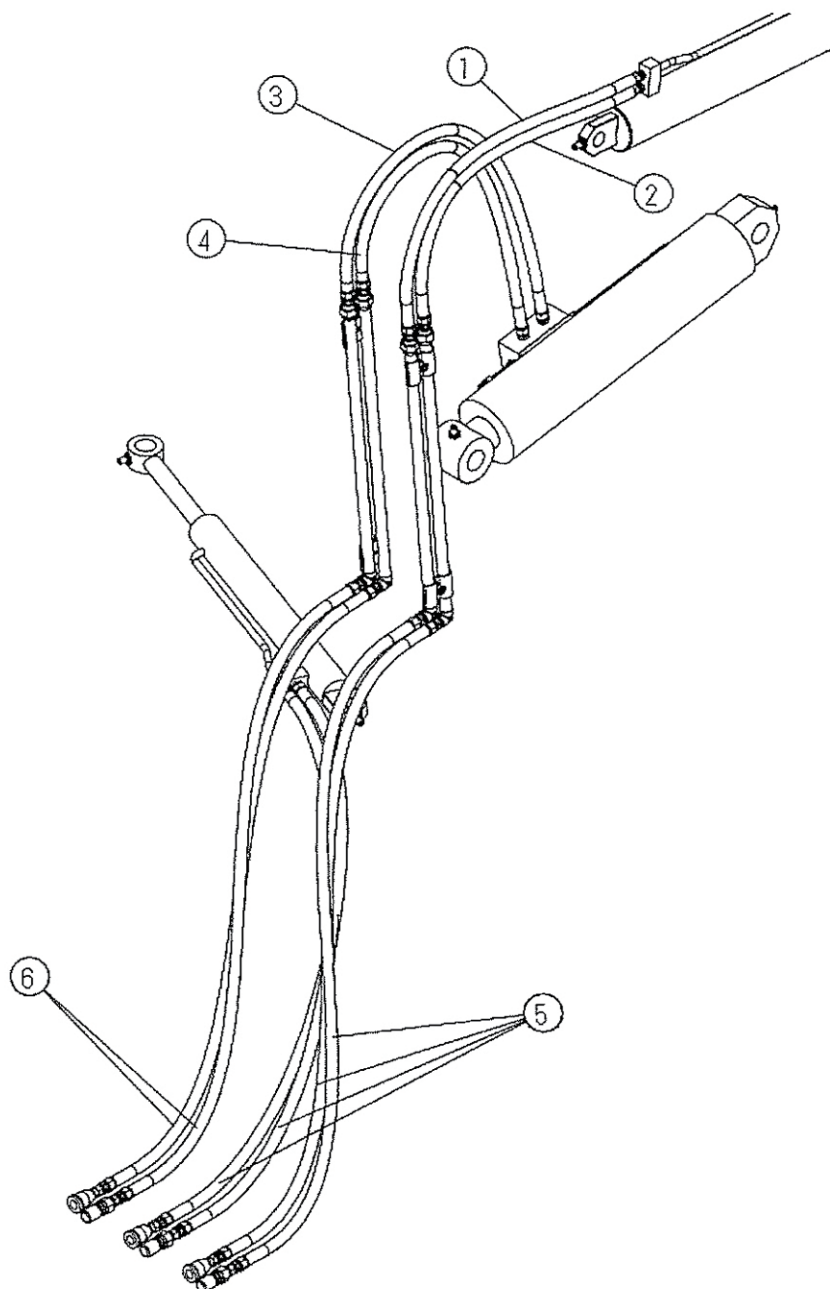
■ 主要諸元表

	FARB106SH
重量	380kg
全高(スタンド除くマスト長)	1870mm
全幅	1210mm
ブーム長(伸長時)	1860(3060)mm
最大吊り下げ高さ	4300mm
吊下重量(ブーム伸長時)	800(600)kg
旋回角度	左右45°
油圧系統	伸縮・昇降・旋回



No.	品番	型式	規格	単価
1	N-100	マストフレーム		
2	N-101	フットフレーム		
3	N-102	ブームA		
4	N-103	ブームB		
5	N-104	トップリンクサポート		
6	N-105	ロアリンクサポート		
7	N-106	カギプレート		
8	N-107	スタンド		
9	N-108	ブームスタンド		
10	N-500	配管1	6 × 460	
11	N-501	配管2	6 × 490	
12	N-400	配管止め		
13	N-401	ソケット	6mm	
14	N-402	エルボ	6mm	
15	N-200	旋回シリンダー	50 × 30 × 300st	
16	N-426	絞り弁	6mm	
17	N-600	シリンダーピン1	25mm × 53	
18		シリンダーピン2	25mm × 53	
19	N-403	ナット	M39	
20	N-404	スプリングワッシャー	M39	
21	N-405	プレート	16 × 160mm	
22	N-201	リフトシリンダー	90 × 50 × 350st	
23	N-406	チェック弁		
24	N-407	平行ねじ付きニップル		
25	N-408	旋回エルボ		
26	N-409	ニップル	PF1/4-L60	

No.	品番	型式	規格	単価
27	N-410	キャップボルト	5 × 25	
28	N-601	シリンダーピン3	31.5mm × 131	
29	N-602	ピン4	31.5mm × 131	
30	N-603	ピン5	31.5mm × 138	
31	N-202	ブームシリンダー	50 × 30 × 1200st	
32	N-604	ピン6	25mm × 68	
33	N-605	ピン7	25mm × 98	
34	N-606	ピン8	25mm × 98	
			24mm × 98	
35	N-411	フック		
36	N-412	トップリンクピン	兼用ピン	
37	N-413	ロアリンクピン	兼用ピン	
38	N-414	スタンドピン		
39	N-415	リンチピン	10mm	
40	N-416	Rピン	4mm	
41	N-417	Rピン	6mm	
42	N-418	グリスニップル	1/8 90°	
43	N-419	グリスニップル	1/8 ストレート	
44	N-420	グリスニップル	6mm ストレート	
45	N-421	ロールピン	6mm × 50	
46	N-422	ホースアダプターニップル	6mm ストレート	
BT1	N-423	ナット	8mm	
BT2	N-424	ボルト	M20 × 50	
BT3	N-425	ボルト	M10 × 25	
BT4	N-450	ボルトセット	M12 × 30	
BT5	N-451	ボルトセット	M10 × 25	

[illegible][illegible]

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233